

教育広報

南 会

編集・発行 福島県教育庁南会津教育事務所
 発行責任者 伊藤 隆 幸
 編集協力 市町村教委連絡協議会南会津支会
 南会津郡小中学校長協議会

『南会津の春の川に思う』

福島県教育庁南会津教育事務所長

伊藤 隆 幸

私は中学生の時からSLの写真を撮り歩いていました。特に、只見線や会津線等を走るC11（田島駅前に静態保存されている）という蒸気機関車が好きで、南会津にもよく撮影に訪れていました。その中でも、鉄橋を渡ったり川にその姿を映したりしながら走る川沿いの風景が好きでした。夏秋冬の只見川や阿賀川の風景は写真とともに私の頭の中にイメージされていました。

4月に南会津に赴任し、私にとっては感動的な「春」の南会津の川の様子を目にすることとなりました。広大な南会津の山々の雪解けの水を集めた川は、流れの速さ、水量、そして以前見た時とは違う川幅は「激流」と表現するにふさわしいものでした。それ以上に、感動したのはその激流には濁りがなく清澄なことでした。阿賀川、伊南川も只見川も。この川の姿に、畏敬の念を持たずにはいられませんでした。

この川の様子を南会津の子どもたちは当たり前のように見ているかもしれません。でも、もしかすると、他の川を知らないで当たり前過ぎて何も感じないかもしれません。私も初めて目にする光景なので、他の域内の子どもたちには是非見せたいと思ってしまいます。今、教育の現場で必要とされている体験とは、今回、私が体験したような、「当たり前であって当たり前でない」ことなのかもしれないと考えさせられました。

また、その時に見ようとしなければ見るこのことのできないことが多くあることにも気づかされました。春のある時期にしか見ることができない風景を見ることができたことに感謝しています。

学校では、今、目の前の子どもたちを確実に見ることが出来る教師が必要とされています。その時しか見ることのできない子どもの姿を大切にしたいものです。

『南会津の子どもたちのために』

南会津郡小中学校長協議会会長

室 井 永 治

本協議会の活動は、昭和28年にスタートし、多くの諸先輩方に脈々と受け継がれ、現在に至っています。

私も本会に所属させていただき、だいぶ長くなってしまいましたが、その間、多くの諸先輩方にこの会の「良さや大切さ」を教えていただいたと同時に「校長としての資質や力量」を高める大切な研修の場にもなってきました。

今年度、会長をさせていただくことになり、職責の重大さをひしひしと感じながら毎日を過ごしているところです。

さて、今年度は、第1回の協議会において、会長として特に各種教育団体や各部会の活動を充実させることは、各学校に勤務されている先生方の活動の充実につながることで、そして、そのことは、郡内の児童生徒の諸活動の

充実に必ずつながることをお話させていただきました。

今年度は、8名の新任の校長先生方をお迎えし、昨年同様21名での活動になりますが、各校長先生方が各種教育団体等の活動に積極的に取り組んでいただいていることに頭の下がる思いでいっぱいです。

これからも本協議会の良さの一つである「気軽に、いつでも、どこでも、誰にでも相談できる校長会」を通して、郡内の子どもたちのために関係諸機関の方々と連携しながら充実した活動にしていきたいと思います。



〈 校長会での校長紹介 〉

南会津夢教育 2015 ～ 郷土を愛し、夢や希望をもつてともにたくましく生きる子どもの育成 ～

県 教育委員会では、学校教育指導の重点の1つとして「学力向上推進支援事業」に取り組んでいます。

「児童・生徒一人一人の学力向上」をねらいとし、次の3つの事業を推進して参ります。

- 授業改善のための定着確認シート活用事業
- 学力調査研究事業
- 学校図書館の活性化実践事業（新規）

それを受け、域内では、5月14日（木）に第1回学力向上担当者等研修会が開催されました。事業の説明、確かな学力を育むための少人数教育、魅力あふれる授業づくりについての講義を行いました。最後に、協議・演習として、「RPDCA サイクルを活用した学力向上グランドデザインの改善」「学級プランの作成と活用」について各校の実践の紹介、話し合いがもたれました。

1学期も終わりを迎えようとしている今、各校のグランドデザインのP（目標）について、C（チェック）振り



〈意見交換する参加者〉

返り、A（対策）新たな実践内容を策定していきましょう。また、グランドデザインを基に、小学校ではより具体的な「学級プラン」、中学校では「教科プラン」の作成・活用にかけていってください。

確かな学力

平 成27年3月27日に学習指導要領が一部改正・告示となり、「特別の教科 道徳」の教育課程への位置づけ・内容等が示されました。道徳の教科化にむけ、「道徳教育の充実に関する懇談会」（H25.12.26）においては、主な指導方法の課題として「地域間・学校間・教師間の差が大きく、指導方法にばらつきがある」「登場人物の心情を理解させるだけの型にはまったものになりがち」「発達の段階に即した道徳の時間の指導方法の開発・普及が不十分」「道徳的価値の理解に偏りがち」などが挙げられました。

これら課題解決の1つとして、問題解決的な学習等、動的な活動の取り入れが考えられます。考えさせる場面を吟味し、子どもたちに考えを持たせ、それをもとに議論・討議のある授業や役割演技（ロールプレイ）等、動的な活動を取り入れた「能動的な学習」です。そのために「場面発問」だけではなく「テーマ発問」を行うなどの発問の工夫に、本年度の道徳教育推進校として只見町立只見小学校が取り組んでいます。その成果の一部を9月18日に地区別推進協議会で発表しますので、ぜひ参観し、自校の道徳教育の更なる充実に生かしてください。



〈ロールプレイで表現：只見小〉

豊かなこころ

南会津がつむぐ 新たな学校教育

ふ くしまっ子体力向上プロジェクトが動き出しています。「体力・運動能力の低下」「肥満傾向児の出現率増加」「食習慣の乱れ」という健康課題を解決し、「未来を担う健康でたくましいふくしまっ子」をめざす取組です。

その1つとして、「小学校体育専門アドバイザー派遣事業」が6月からスタートしています。目的は、次の3点です。

- 体を動かす楽しさを感じさせます！
- 体力向上のきっかけをつくります！
- 学校に元気をとどけます！

具体的には、全学年の体育授業の指導支援、休み時間等の遊びの支援、長期休業中の体育的活動支援などです。各校からの要望に応じ、体育的活動に関わる指導支援全般を行います。アドバイザー派遣は、6月下旬から実際にスタートしていますが、南会津域内の14の小学校に効果的に活用していただけるよう今後も進めていきます。



〈体育における水泳の指導〉

健やかな体

特別支援教育の充実

関 係機関の協力により、域内の特別支援教育の体制は整備が順調に進んでいます。特別支援教育・生徒指導訪問ではお忙しい中時間を割いていただき、現在の取組や児童生徒の状況について把握することができました。学校全体での支援体制の整備はされているものの、まだまだ課題も多いことも改めて感じました。

今年度、特別支援教育課では新たな事業として「特別支援学校機能強化事業」を立ち上げました。特別支援学校のセンター的機能を向上させ、各校の課題解決に向けて助言するものです。依頼を受け、特別支援学校の専門職員が伺い指導助言を行います。

今年度は、巡回相談が未就学児と通常学級の児童生徒、強化事業が特別支援学級の児童生徒及び校内研修等を支援します。二つの事業を目的に応じてぜひ活用してください。



〈特別支援教育体制促進協議会〉